

平成29年第11回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	平成29年11月16日（木曜日） 午後1時40分から2時53分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開理由	—
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・矢次健志・島村由起男・神山好子・井上三枝
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 関口正明・教育部参事 島津芳久・教育総務課長 鈴木雅広・学校教育課長 稲村浩之・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 関根俊介・高萩北公民館長 増田和雄
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	0人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・配布資料一覧

議題及び決定事項等

議事はありませんでした。

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長の報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 高萩北公民館の事業でエアロボクシング教室とあるが、エアロボクシングは、どのような内容であるか。

(高萩北公民館長) エアロビクスにボクシングの動きを取り入れたもので、体を動かす目的のものである。

(委員) 29人が参加となっているが、29人もの人数が一斉に体を動かす場所は、公民館内に用意されているのか。

(高萩北公民館長) 高萩北公民館については、第一集会室などで対応可能であるが、30名が限界であるので、人数を制限したものである。

(委員) 歌声喫茶公民館という事業は、どのような内容か。また、年齢層は。
(高萩北公民館長) ピアノの伴奏に合わせ、参加者が童謡や唱歌を歌うものである。全て、懐かしい歌となっているので、年齢層は高齢の方が多い。
(委員) 歌に関しては、高齢者層のニーズが高いことと、生涯学習の観点からも良い事業であるので、回数を増やすことができればお願いしたい。
(高萩北公民館長) 高萩北公民館については、周りに住宅がなく、ある程度の音を出すことが可能であるので、集まりやすくなっている。

(委員) 中学卒業講話については、どのような内容か。講演などを聞くだけか。
(高萩北公民館長) 一昨年までは、公民館内で講話などを聞く形態であったが、高萩北中学校の体育館を使用して、最初に講話を聞いた後に、北中サミットとして、中学生4名と高校生3名ずつパネラーになり、特定の議題を話し合うような内容に変更したところである。前回のテーマは、スマホの使い方について話し合ったものである。
(委員) 例えば、講話などについては、商工会などに依頼する等すれば、経営者などいろいろな方を講師として、いろいろな参考になる話が聞けるのではないか。
(高萩北公民館長) 今、候補に挙がっているのが、商工会長など考えているところである。参考にさせていただきます。

(委員) 家庭教育推進事業については、参加される年齢層はどうなっているか。
(高萩北公民館長) ひよこルームは、0から3歳児くらいまでの親子である。
(委員) 未就学児まで広げられれば、今後の学校教育につなげていくときに、幼保連携を含めた子どもの教育に対して、実際、この年代の親子に啓発できるこのような機会が重要であると考えているので、非常に大事な事業であるにとらえている。
(高萩北公民館長) ありがとうございます。参考にさせていただきます。

(委員) 学校指導訪問について、市教育委員会と西部教育事務所が訪問して、どのような指導をするのか。
(学校教育課副参事) 流れとして、全教員から授業の指導案について、まとめた指導案集を西部教育事務所と市教育委員会に送り、指導案の作り方で授業のプランを立てられるので、それを実際、当日に授業を見ながら良かった部分、足りなかった部分の指導を行っていくものである。
また、学級経営の仕方などを指導していくもので、2年に一度ではあるが非常に意味のあることと考えている。

(委員) 実際に指摘される内容は、どのような内容であるか。
(学校教育課副参事) 個々の授業の反省は、専門教科の先生が指導を行うが、授業終了後に1時間程度、指導案について指導していくが、例えば、道徳の授業で、話し合い活動の際に、目的を持たせること、単純に子どもたちに話し合わせるだけでなく、まず個人で考えさせ、そのあとに話し合いにもっていったほうが良い

などの具体的な指導をしている。

(学校教育課長) 初任者もいれば、ベテランの教諭もいる中で、それぞれ指導の内容が違ってくる。総合的には、2年に一度ではあるが、教員が緊張感を持って取り組むことのできるこの機会が、非常に重要であると考えている。

【教育長報告：資料1関連】

(委員) 来年度の人事について、学校経営とともに、長期的な観点も考慮して人事を考えるようにと指示をされているが、長期的な観点とは何を意図するものか。

(教育長) 短期的な人事の異動だけを考えるのではなく、数年後に異動するであろう人員も見越して、現段階で用意しなければならない人材などを考慮するようにお願いしたものである。計画的かつ早めに動かしていかないと、標準的な異動年数を迎える教員が重なってしまうなどの結果、本来、異動時期である教員が異動できなくなるなどの弊害が考えられる。

(委員) 質問の主旨は、今後、小中一貫教育で9年間となった場合、教員の異動年数が5～7年間で異動するのであれば、一貫教育の連続性が保てないのではないかという恐れがあるので、どのように考えているのかという主旨である。

(委員) 教職員の事故防止について、事故が起こるたびに注意はするが、根本の問題はどこにあったのか見えてこない。事件があるたびに優秀な教員であったなどと聞くが、見た目だけではそこまで判断できないので、内面的なものまで注意深く観察していくことが重要である。事故が起こるたびに検証をしていると思うが、全く生かされていない。リスクの回避のみ考えるのではなく、リスクマネジメントをしていかないと、このまま事件が減ることはないと思われる。

(教育長) 非常に難しい問題であり、決定的な対応策があるわけではないため、頭を悩ませている。繰り返し指示して、意識付けしていくことが重要であると考えている。

(委員) 検証や人事選考などにおいて、学校側の人間だけで見るのではなく、異なる業界の有識者など民間の目を取り入れることも方策として良いのではないか。

(教育長) 一つの案として、お聴きする。

(委員) 視察に行った熊谷市の3減運動「テレビの時間を減らす、ゲームの時間を減らす、スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らす」を参考にしたいとのことであるが、個人的には、ずっと禁止すべきだと言い続けてきたことである。ぜひ、徹底して取り組んでいただくようお願いする。

(教育長) 「生活と学びのすすめ8か条」などで啓発してきたが、さらにそれぞれによる影響を伝えていきたい。

(委員) 全国学力・学習調査の結果を受けた今後の対応の中で、無駄を省き、効果的な指導を行うとあるが、無駄と思われるものにも良いものがあるし、また、若

い教員など、無駄が何かということが判断できるのか。

(教育長) 児童生徒との関わりの中で生じるものではなく、単に事務効率の話で申し上げたものである。

(委員) 教育相談員等研修会の講演について、「不登校児童生徒と保護者の対応」の内容の中で、最も本質的なものは何であったか。

(教育長) 教育相談員を対象とした講演であったが、学校や教師があきらめないことの大切さとともに、学校と保護者をつなぐ役割の大切さを挙げていた。

(委員) 入間地区教育委員会連合会の講演の中で、「関係者はどのような構えで、これからの教育に臨むべきか」のポイントとして、エビデンスをどう読み解き、どういう示唆を得るかとあるが、エビデンスの言葉のとらえ方が、学校現場の中では、厳格な根拠ではなく、抽象的なイメージを持たれていると感じる。学校現場でいろいろデータ化したものを駆使していくことを言っているのか。

(委員2) 講演に参加したが、内容として、社会学者は確定的なことは言えない。あくまでも傾向的なことしか言えないものであるとのことであった。ここでいうエビデンスの意味合いは、確証ではなく傾向的なもので言っていたと感じている。教育の分野には、基本的にはなじまない言葉であると考えている。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議事はありませんでした。

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

- 12月定例会：12月21日（木曜日）午後1時40分から 委員了承
- 1月定例会：1月24日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

(2) その他連絡事項

- 平成30年日高市成人式
1月7日（日曜日）午前11時開式【ひだかアリーナ】
- 入間・比企地区合同教育長・教育委員研修会
1月19日（金曜日）【ディアナマリエール（東松山）】